

令和4年度事業報告書

1 総会

◎第10回定時総会

令和4年5月31日（金）14時30分から、第1種会員4団体すべてが出席し、水産庁栽培養殖課 桜井課長、古園課長補佐、長谷川係員、経済産業省生活製品課 大滝課長補佐、船渡係長臨席のもと第10回定時総会を開催し、次の議案について審議し、議決した。

- 第1号議案 令和3年度事業報告に関する件
- 第2号議案 令和3年度貸借対照表の承認に関する件
- 第3号議案 令和3年度正味財産増減計算書の承認に関する件
- 第4号議案 理事及び監事の選任に関する件
- 第5号議案 その他

議案の審議状況は、次のとおりである。

第1号議案 令和3年度事業報告に関する件

令和3年度事業報告書(案)により、事業の概要を報告、説明した後、定款第38条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第2号議案 令和3年度貸借対照表の承認に関する件

令和3年度末時点での貸借対照表について報告、説明した後、令和4年4月22日に監事監査を受け、適正且つ、妥当である事を確認した旨を報告、定款第13条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第3号議案 令和3年度正味財産増減計算書の承認に関する件

令和3年度末時点での正味財産増減計算書について報告、説明した後、令和4年4月22日に監事監査を受け、適正且つ、妥当である事を確認した旨を報告、定款第13条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第4号議案 理事及び監事の選任に関する件

定款第22条の規定に基づき、理事候補者として10名、監事候補者として2名の候補者名簿により、理事として藤田哲也、中西伸一、覚田譲治、平井義則、田坂行男、金子康男、田崎将大、森田雅人、倉本達、小山藤太を選任し、監事として伊地知由美子、根本伸浩を選任した。

第5号議案 その他

特になし。

2 理事会及び理事協議会

令和4年度の理事会の開催状況は、次表のとおりである。

回	開催日時	開催場所	審議事項等
1	令和4年 5月31日(火)	リモート会議	審議事項 ・令和3年度の決算承認について 協議事項 なし 報告事項 なし 各団体、各委員会及び事務局報告
2	令和4年 5月31日(火)	リモート会議	審議事項 ・会長、副会長、専務理事の互選 ・監事、参与、顧問の指名 協議事項 ・自由民主党真珠振興議員連盟総会に提出予定の「要望書」について 報告事項 ・「CIBJOパールガイド」の和訳について ・「SDGs」に係るCIBJOレポートについて 各団体、各委員会及び事務局報告
3	令和4年 7月21日(木)	東京・日本真珠振興会/会議室	審議事項 ・事務局人員補強に伴う費用について 協議事項 ・「加工流通部会(仮称)」の設置について ・アラブ首長国連邦から問い合わせのあった技術協力について ・SDGs関連事業に関する企画書について (日本真珠輸出組合) 各団体、各委員会及び事務局報告
4	令和4年 8月23日(火)	リモート会議	審議事項 なし 協議事項 ・RX JAPANとの間で締結している「神戸国際宝飾展 IJKに対する特別後援の具体的な条件に関する覚書」の取り扱いについて 報告事項 なし 各団体、各委員会及び事務局報告
5	令和4年 9月30日(金)	神戸・日本真珠会館 1階会議室	審議事項 ・令和4年度における「地域事業」と「生産対策事業」について ・H/L画像撮影事業の一部外部委託について 協議事項 ・RX JAPANとの覚書締結について ・真珠の輸出ビジネスに関する番組作成について 報告事項 なし 各団体、各委員会及び事務局報告

6	令和4年 11月9日(水)	神戸・日本真珠会館 1階会議室	<p>審議事項 なし</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPAA(全米養殖真珠協会)からの提案について ・「NPO法人ひと粒の真珠」の扱いについて ・一般社団法人新日本真珠研究所が発行する「鑑定書」の取り扱いについて ・養殖産地で排出されるゴミ類等の処分状況について <p>報告事項 なし</p> <p>各団体、各委員会及び事務局報告</p>
7	令和5年 3月20日(月)	リモート会議	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度「地域事業費」「生産対策事業」の予算執行について ・令和5年度の予算執行に係る事項について ・令和5年度予算書について <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出項目に新たに「環境配慮」に係る項目を追加する件について ・「海岸ゴミ回収事業」について(三重県真珠養殖連絡協議会提案) ・真珠研究シンポジウムの共催について ・特別研究員の登録について <p>報告事項 なし</p> <p>各団体、各委員会及び事務局</p>

(注) 詳細は、既配布及び振興会事務局設置の議事録参照

3 事業の概要

[実施事業等会計]

1 市場開拓及び需要拡大等支援事業

(1) 展示会等への出展による市場開拓・需要拡大事業

① 国内国際宝飾展出展事業

ア 第26回神戸国際宝飾展(IJK2022)主催:RX Japan(株)

(令和4年5月26日(木)～28日(土)於:神戸国際展示場)

振興会は会場内ブースにおいて、日本産アコヤ真珠の素晴らしさを伝えるPR動画の放映、真珠検定事業の取り組みを紹介した。

イ ジャパンジュエリーフェア2022(JJF2022)主催:(社)日本ジュエリー協会・インフォママーケティングジャパン(株)(令和4年8月31日(水)～9月2日(金)於:東京ビッグサイト)

振興会ではフェアを後援し、会場内ブースにおいて「ジャパニーズアコヤ」の美しさと魅力を伝える日本真珠加工協同組合の取り組みを支援した。

また、ジュエリーデザインアワード2022において、日本真珠振興会会長賞の授与を行った。

- ウ 第34回国際宝飾展（IJT2023）主催：RX Japan(株)
（令和5年1月11日（水）～14日（土）（於：東京ビッグサイト）
振興会は会場内ブースにおいて、日本産アコヤ真珠の素晴らしさを伝えるPR動画の放映、
真珠検定事業の取り組みを紹介した。

（2）地域活性化事業

- ① 愛媛県・真珠PRレディ募集事業 実施：愛媛県漁業協同組合
（令和3年7月11日応募締め切り、10月中旬最終選考、任期11月下旬より1年間）
「全国一真珠が好きで真珠に詳しい愛媛県民育成」をねらい、愛媛県産アコヤ真珠の広告としてPR
レディ「ミズ・オンドアール」を選出する事業を支援した。
- ② 真珠婚・おかげ参り事業 実施：真珠婚国際協会、三重県真珠養殖連絡協議会
（令和4年11月22日（火）於：伊勢神宮内宮、志摩観光ホテルザクラシック）
夫婦が結婚30周年を迎える11月22日を「真珠婚の日」と定め、この日に夫婦が絆を強め、
幸せな家庭生活を願う証として、夫から妻に真珠を贈ることを普及させることを目的とした事業を
支援した。
- ③ 真珠供養祭 実施：三重県真珠連絡協議会
例年10月22日に三重県、賢島で開催される真珠母貝供養祭を支援した。

2 品質向上及び供給安定化等支援事業

（1）品質向上事業

① 品評会関連

- ア 第47回全国真珠品評会、第20回全国花珠真珠品評会
振興会と全国真珠養殖漁業協同組合連合会の共催により、農林水産祭参加行事として、二つの
品評会を実施した。

第47回全国真珠品評会（浜揚げ珠）

審査会 令和5年 2月28日（火） 於：伊勢・真珠会館

表彰式 令和5年 3月20日（月） 於：伊勢・真珠会館

農林水産大臣賞1点、水産庁長官賞2点、日本真珠振興会長賞等団体賞3点を選考し、
表彰した。

第20回全国花珠真珠品評会

審査会 令和5年 2月28日（火） 於：伊勢・真珠会館

表彰式 令和5年 3月20日（月） 於：伊勢・真珠会館

農林水産大臣賞1点、水産庁長官賞2点、日本真珠振興会長賞等団体賞3点を選考し、
表彰した。

イ 第42回愛媛県浜揚げ真珠品評会

実施：愛媛県漁業協同組合、愛媛県真珠養殖漁業協議会

（令和4年11月25日（金）於：宇和島市総合福祉センター・4Fホール）

真珠養殖の技術および品質の向上を図り、もって業界の長期安定と発展に資することを目的と
して開催される品評会を後援、日本真珠振興会会長賞を授与した。

ウ 第15回三重県真珠品評会 実施：三重県真珠養殖連絡協議会
(令和4年12月15日(木) 於：志摩市商工会館・1Fカルチャー教室)
三重県内産浜揚真珠のうち、品質の優秀なものをエントリーし展示公開するとともに、その中で特に優秀なものを選び表彰する事業を支援した。

② 養殖技術向上関連

ア 自動観測装置管理事業 実施：三重県真珠養殖連絡協議会
(令和4年12月7日(水)～令和5年1月27日(金)、於：英虞湾央、湾奥、的矢湾、五ヶ所湾等)
県下の真珠養殖漁場合計11基の自動水温観測装置について水温、溶存酸素、塩分濃度のデータを30分間隔で観測し、Webサイトを通じてデータを公開することで真珠養殖業等の生産の安定を図るとともに漁業者に対し海象状況を提供する事業を支援した。

イ 宇和海水温観測システム 実施：愛媛県漁業協同組合ほか
(令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)、於：愛南町内海塩小島近海)
内海、塩小島に設置している水深60メートルの水温計を活用し、日々の養殖管理に役立つ事業を支援した。

ウ アコヤ貝人工採苗事業 実施：全国真珠養殖漁業協同組合連合会、愛媛県漁業協同組合
令和元年から始まった稚貝の大量斃死については、試行錯誤を重ねてはいるものの回復の兆しが見えない。この状況を打破すべく生産団体が一致団結して、真珠産業の根幹である母貝養殖の再構築を目指そうとする採苗事業を支援した。

[その他会計]

1 真珠検定事業

従来曖昧だった真珠についての価値基準や諸説を整理し、真珠の美しさをより多くの人に伝えることを目的として、平成26年度から真珠検定事業を実施。「販売関係者の真珠知識向上(教育)」「一般消費者の真珠愛好者育成(販売成果)」をひとつの取り組みで実現させる仕組みで活動している。

令和4年度は以下のとおり事業を実施した。

① 講座等実施状況

- ・一般消費者向け はじめての真珠講座の開催
より広く一般に真珠の魅力に触れてもらうため、基本的な内容を短時間で伝える講座として平成26年度より開始され、令和4年度は45回開催した。
- ・学生向けSA検定講座
令和4年度初開催となる学生向けSA検定講座を、ヒコミズノ東京校、大阪校で開催した。受講者数44名。が学生SA資格登録者数22名。
- ・JA(ジュニアアドバイザー)講座の開催
平成30年度よりeラーニングを開始し、令和4年度は227名が受講した。
- ・SA(シニアアドバイザー) 令和4年度は12回開催、受講者数は50名だった。現在、SA資格登録者総数268名。
- ・SP(スペシャリスト)認定試験
販売経験3年以上かつSA取得後3年以上の実績を持ち、SAフォローアップ研修を5回以上受講した知識・経験・倫理・選別眼を併せ持つ真珠のスペシャリストの認定試験である。令和4年度は9名が受験し、2名が合格した。現在SP資格登録者総数は8名。

② オンライン教材、セミナーの実施

- ・ SA限定ダウンロード資料を4点配布した。また、SA限定メールマガジンを27回配信した。
- ・ SAオンライン定例会を5回、SAオンライン実習を12回開催した。
- ・ はじめての真珠講座開催研修を5回、SPとのオンライン意見交換会を8回実施した。

③ その他活動

- ・ 真珠検定 公式 Instagram を始動
- ・ SA資格取得に関する説明相談会を開催した。
- ・ ジャパンパールフェア視察ツアーを実施した。
- ・ 真珠検定のPR動画、撮影制作に関する手配をした。

2 真珠産業海外展開強化事業

- ・ 令和4年度の標記事業補助金の交付決定を受け、真珠産業連携強化協議会（以下「協議会」という。学識経験者・事業者・真珠関係自治体・研究機関・国により構成）及び関係3部会（生産開発部会、販売・マーケティング部会及び輸出拡大戦略部会）を設置した。
- ・ 真珠産業連携強化協議会
第1回協議会を令和4年7月12日（火）にリモートで開催し、①会議の推進体制の決定と会長・部会長の選出、②行動計画の改定作業に関する協議を行った。
第2回協議会を令和5年3月22日（水）にリモートで開催し、①本年度の各部会活動報告、②次世代中核的人材育成事業の活動報告、③作業行動計画の評価と改訂作業、を実施した。
- ・ 生産開発部会
第1回部会を令和4年7月12日（火）にリモートで開催し、最近のアコヤガイ真珠養殖の生産状況について情報交換した後、①真珠養殖の生産管理ポイント策定調査の進め方（委託先：日本エヌ・ユー・エス株式会社）、②「生残率が高く品質の良い真珠を作る真珠母貝養殖の実証試験」の概要、③アコヤガイ稚母貝の遺伝系統解析の進め方（委託先：沖縄科学技術大学院大学、東京大学大学院）について協議した。
第2回部会を令和5年3月20日（月）にリモートで開催し、最近の真珠生産及び販売状況について情報交換した後、①「真珠養殖の生産管理ポイント策定業務」成果報告、②「生残率が高く品質の良い真珠を作る真珠母貝養殖の実証試験」結果報告、③アコヤガイ母貝遺伝系統解析に係る成果報告の3点について協議した。
- ・ 販売・マーケティング部会
第1回部会を令和4年7月15日（金）にリモートで開催し、①広告宣伝戦略構築に係るワーキンググループによる「動画作成事業」の進捗状況、②中国の真珠に係る消費者動向調査業務、③アメリカ・カリフォルニア州の真珠に係る消費者動向調査業務について協議した。
第2回部会を令和5年3月23日（木）にリモートで開催し、①動画作成事業の進捗状況、②「中国の真珠に係る消費者動向調査」調査結果、③「アメリカの真珠に係る消費者動向調査」調査結果について協議した。
- ・ 輸出拡大戦略部会
第1回部会を令和4年7月15日（金）にリモートで開催し、第1回部会では、①農林水産省令和3年度補助予算事業への取り組み、②農林水産省令和4年度当初予算事業への取り組み、③中国、アメリカにおける真珠に係る消費者動向調査業務、④令和5年度農林水産省輸出拡大実行戦略に向けた検討事項について協議した。
第2回部会を令和5年3月17日（金）にリモートで開催し、①第1回・第2回ジャパンパール

フェア、②「輸出重点国における真珠に係る消費者動向に関する調査」調査報告、③「生残率が高く品質の良い真珠を作る真珠母貝養殖の実証試験」結果報告、④農林水産省令和5年度当初予算「課題提案書」について協議した。

- ・ 真珠産業の次世代を担う人材が取り組む活動を支援する「次世代中核的人材支援事業」を実施し、真珠養殖における技術試験、リサイクル等に関する6グループの活動を承認し、それぞれのグループ活動を支援した。
- ・ これらにより、関係機関の連携強化を図りつつ、真珠産業及び真珠に係る宝飾文化の振興に向けて全国的な取組みを実施した。

3 農林水産物・食品輸出促進対策事業（品目団体輸出強化支援事業）

農林水産省「農林水産物・食品輸出促進対策事業」のうち「品目団体輸出力強化支援事業」の予算を使って、以下の事業を実施した。

● 中国の真珠に係る消費者動向調査

GDP水準、人口規模等から見て重要度を増している中国の真珠に対する需要特性、市場深掘りに際しての課題などを明らかにする目的で消費者動向調査(ネットアンケート)を実施した。調査対象は「一線都市」(北京市、上海市、広州市、深圳市)に居住する3,000人の消費者とした。

● アメリカの真珠に係る消費者動向調査

近年市場の成熟化で需要が低迷傾向にあるアメリカであるが、近年新規需要が形成される傾向がみられることから、アメリカの需要動向や新規需要層の需要特性、市場深掘りにあたっての課題などを明らかにする目的で消費者動向調査(ネットアンケート)を実施した。調査対象は、カリフォルニア州の購買力が比較的高い都市圏に居住する3,000人の消費者とした。

● 日本産アコヤ真珠の持続可能性に関するPR事業

宝石への関心が、単に「美しいもの」だけでなく、倫理性や持続可能性などに付加価値を求める潮流がある。特にこの需要は欧米諸国など海外で高まっている。日本の有力産地である三重県では、漁協による「パールコンポスト事業」(真珠採取後のアコヤガイ貝肉を活用した堆肥作り)が展開されるとともに、貝殻を使ったボタン生産、化粧品材料、建築資材など幅広く活用されている。行政当局もアコヤ真珠関連のSDGs事業を強化している。この事業では、日本の真珠養殖産地で行われているサステナブルな取り組みに的を絞ったリーフレットや動画(日本語、英語、中国語)を作成し、オンライン商談会など展示会の機会を活用して配布するとともに、SNS配信を積極的に行った。

● 安定したオンライン商談に不可欠な撮影拠点の整備（標準光源、撮影技術の統一化）

海外及び国内でのオンライン商談の安定に資するために、昨年度、真珠卸会社が集積している神戸と伊勢に標準光源を備えた撮影拠点を整備した。今年度はこの2か所に加えて東京にも拠点を整備し、3拠点体制を確立し、オンライン商談に向けた効率的な撮影環境を確保した。また、ジャパンパールフェアにおいて活用し、そこで得られた効果・課題を今後の取組方針に反映させる計画である。

● 真珠両軸穴あけ機の試作機開発事業

日本のアコヤ真珠は、真珠自体の高品質さ、品揃え力の高さに加え、優れた加工技術の高さが評価につながっている。この事業では、真珠加工における重要な加工過程である穴あけ加工の精度向上を図るべく両軸穴あけ機の改良を図るとともに、メンテナンスへの対応についても改善を図ることを目的として実施した。

● 生残率が高く品質の良い真珠を作るアコヤ真珠母貝養殖の実証試験

真珠養殖に使用するアコヤガイ稚母貝のへい死問題は業界として解決すべき喫緊の課題である。

この事業は、愛媛県の母貝養殖業界の協力のもと、沖合のウイルスフリーと考えられる海域において、生残率が高く、品質の良い真珠を作るアコヤガイ稚母貝の2段階生産の条件を見極めることを目的に実施した。

- 中国バイヤー等を対象としたBtoB特化、ハイブリッド型商談会（ジャパンパールフェア）の開催
10月下旬及び3月下旬の2回、神戸サンボホールにおいて、中国人バイヤー等を対象としたBtoB特化、ハイブリッド型商談会オンライン商談会を開催した。第1回商談会では659名（このうち海外バイヤー112名）、第2回商談会では875名（このうち海外バイヤー276名）のバイヤーが来場した。
- オンライン入札システムの開発
オンライン商談会を評価するにあたっては、入札システムの良し悪しが影響を与える。この事業では、今後日本で行うオンライン商談会での入札システムのあり方を検討し、海外と比較しても優位さのも
てるオンライン入札システムを開発し、輸出拡大に結び付けていくことを目的に実施した。今後反省会を通じて機能の向上を図っている計画である。

4 普及啓発事業

① 「振興会のページ」の作成と配布

振興会の事業活動について、真珠業界関係者に理解を得るため、伊勢新聞社の協力の下、当該新聞社が発行する「真珠新聞」に「振興会のページ」を作成し、第1種会員、第2種会員に配布した。また、国内宝飾展会場でも配布した。

- ・ 令和4年4月11日号においては、日本真珠振興会が令和3年度に取り組んだ「日本真珠国際競争力強化推進事業」において取り組んだ事業の概要と成果の紹介、令和3年度「次世代中核的人材支援事業」の活動報告、第46回全国真珠品評会(浜揚げ珠)及び第19回全国花珠真珠品評会の結果報告、受賞者インタビュー、真珠検定委員会による花珠鑑定書卒業実践塾の開講、SA限定フォローアップ研修の実施報告、を掲載した。
- ・ 令和4年8月1日号においては、真珠検定委員会によるSA限定フォローアップ研修の実施報告、第1期花珠鑑定書卒業実践塾の受講生応募記事、真珠検定シニアアドバイザー限定の展示会・催事用ポスター・POP類のデータ配布を開始したこと等を掲載した。
- ・ 令和5年1月1日号においては、日本真珠振興会・藤田会長の新年インタビュー、2022年日本真珠再生特別事業負担金に関する拠出者名簿、愛媛県浜揚真珠品評会・講評、愛媛県浜揚真珠品評会農水大臣賞受賞インタビュー、「ミズ・オンドアール2023」の審査結果報告、第1期花珠鑑定書卒業実践塾開講記事、真珠検定委員会SA限定フォローアップ研修の実施報告等について掲載した。

② 矢野経済研究所発行「JAPAN PRECIOUS」への広告記事の掲載

- ・ No.105（2022年 Spring 号）には、日本真珠振興会真珠検定委員会が、真珠検定シニアアドバイザー（SA）の資格保有者を対象に定期的実施している、オンラインによる「SA定例会」の活動状況、次回のSP認定試験に向けた要綱、稚貝斃死に関する地域間の連携状況、等について掲載した。
- ・ No.106（2022年 Summer 号）には、令和3年度水産庁補助事業「真珠産業海外展開強化推進事業」において開催した第2回「真珠産業連携強化協議会」、「生産開発部会」、「販売・マーケティング部会」、及び「輸出拡大戦略部会」における協議内容、令和3年度「次世代中核的人材支援事業」活動報告、第7回SA定例会新春SA交流会の開催、花珠鑑定書卒業実践塾の開講、真珠検定シニアアドバイザー限定の展示会・催事用ポスター・POP類のデータ配布を開始したこと、等について掲載した。
- ・ No.107（2022年 Autumn 号）には、令和4年度水産庁補助事業「真珠産業海外展開事業」において開催した第1回「真珠産業連携強化協議会」、「生産開発部会」、「販売・

マーケティング部会」、及び「輸出拡大戦略部会」における重点課題内容、「行動計画」の評価と改定作業に関する協議、令和4年度「次世代中核的人材支援事業」実施計画等について掲載した。

- ③ 三重県海岸ごみ回収事業を支援した。
- ④ 「真珠連絡会」事業
日本ジュエリー協会との連携事業「真珠連絡会」において、若年層へ向け、真珠に親しみを持ってもらうための動画「二十歳の真珠 (はたちのパール)」「二十歳へ真珠 (はたちへパール)」を制作した。
- ⑤ 一般消費者からの質問、相談への対応
メールや電話による一般消費者からの質問や相談、消費者センターからの問い合わせに対応した。

[法人会計]

- ① 総会、理事会の開催 (前掲)
- ② 真珠振興議員連盟総会の開催
令和5年2月1日(水)午前、自民党真珠振興議員連盟総会が自民党本部7階・702号室で開催された。